

原料費調整制度(ガス料金の調整)

原料費調整制度とは

原料価格や為替レートの変動による原料費の増減を速やかにガス料金に反映させることにより、料金の透明性を高めるため、毎月ガス料金の単位料金(1m³あたり単価)を調整する制度です。

従量料金単価の調整

●従量料金単価は、平均原料価格の変動と連動して調整いたします。

① 平均原料価格の算定

平均原料価格＝LNG平均価格(円/t)×0.8617＋LPG平均価格(円/t)×0.1486

※10円未満は四捨五入します。

※平均原料価格が上限バンドを上回るときは、133,280円/tをその価格とします。

② 原料価格変動額の算定

基準平均原料価格(83,300円/t)－①の平均原料価格(円/t)

※100円未満は切捨てます。

③ 調整単位料金(1m³あたり)の算定

調整単位料金＝基準単位料金－0.052円×(②の原料価格変動額/100円)×(1+消費税率)－補助金

※小数点第3位は切捨てます。

●この調整単位料金が従量料金に反映されます。

調整後の従量料金単価の適用期間は次のようになります。

| 平均原料価格の実績 | | | 従量料金単価調整の適用月 |
|-----------|---|------|--------------|
| 1月 | ～ | 3月 | → 6月 |
| 2月 | ～ | 4月 | → 7月 |
| 3月 | ～ | 5月 | → 8月 |
| 4月 | ～ | 6月 | → 9月 |
| 5月 | ～ | 7月 | → 10月 |
| 6月 | ～ | 8月 | → 11月 |
| 7月 | ～ | 9月 | → 12月 |
| 8月 | ～ | 10月 | → 翌年1月 |
| 9月 | ～ | 11月 | → 翌年2月 |
| 10月 | ～ | 12月 | → 翌年3月 |
| 11月 | ～ | 翌年1月 | → 翌年4月 |
| 12月 | ～ | 翌年2月 | → 翌年5月 |

| ※基準単位料金表(消費税込) | | | ＜令和元年10月1日改定＞ |
|----------------|------|-------------|---------------|
| 契 約 種 別 | | 基準単位料金(10%) | |
| 一般契約 | 料金表A | | 130. 82円 |
| | 料金表B | | 126. 54円 |
| | 料金表C | | 124. 81円 |
| 小型空調契約 | 1種 | 冬 期 | 113. 77円 |
| | | その他期 | 91. 48円 |
| | 2種 | 冬 期 | 118. 17円 |
| | | その他期 | 95. 88円 |
| 空調夏期契約 | 1 種 | | 95. 55円 |
| | 2 種 | | 104. 35円 |
| | 3 種 | | 112. 45円 |